

## 登録有形文化財(建造物)の登録について

令和6年7月19日(金)に国の文化審議会が開催され、同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、下記の登録有形文化財の登録について文部科学大臣に答申される予定です。今後官報告示を経て、登録文化財原簿に登録されることとなります。

本県関係では、令和4年11月18日答申の杉原商店主屋など8件に続くもので、合計246件となります。

### 【答申予定の登録有形文化財(建造物) 10件】

	名 称	所 在 地	所 有 者	建 築 年 代
1	にしひやくすけけいじゅうたくおもや 西野百助家住宅主屋	越前市定友町9-2 <small>さだとも</small>	西野 忠夫	昭和2年 (1927)
2	// <small>きたどぞう</small> 北土蔵	//	//	昭和2年 (1927)
3	// <small>みなみどぞう</small> 南土蔵	//	//	昭和2年 (1927)
4	// <small>はな</small> 離れ	//	//	昭和2年 (1927)
5	// <small>にわもん</small> <small>みなみべい</small> 庭門及び南堀	//	//	昭和2年 (1927)頃
6	// <small>きたもん</small> <small>きたべい</small> 北門及び北堀	//	//	昭和2年 (1927)頃
7	あかいけいじゅうたくおもや 赤井家住宅主屋	永平寺町清水8-39	赤井 昭彦	明治28年 (1895)
8	// <small>びょうしつどう</small> <small>きゅうしんりょうじょ</small> 病室棟(旧診療所)	//	//	昭和12年 (1937)
9	// <small>しんしんりょうじょ</small> 新診療所	//	//	昭和29年 (1954)
10	// <small>ものおき</small> 物置	//	//	昭和18年 (1943)

## 西野百助家住宅について

- ・所在地 越前市<sup>さだとも</sup>定友町 9-2
- ・所有者 西野 忠夫
- ・特徴 西野家は、越前和紙産地の五箇・定友町に位置し、昭和初期に大規模な製紙工場を複数経営し、越前和紙の製紙産業を支えた製紙家。  
広大な敷地には、主屋と、背後の北土蔵、南土蔵、離れが並び、敷地周囲を庭門及び南塀、北門及び北塀で囲む。いずれの建物も昭和初期建築で、大規模で材料から仕上げまで吟味された質の高い近代和風建築である。
- ・備考 南隣の登録文化財・西野家住宅（平成 29 年登録）が本家にあたる。



西野百助家住宅全景



位置図



## 西野百助家住宅各建物について

### ①主屋<sup>おもや</sup>

- ・年代 昭和2年(1927)建築
- ・登録基準 造形の規範となっているもの
- ・特徴 主屋は木造2階建て、入母屋造り葺き瓦葺きで、立ちが高く、大規模である。伝統的な構えを見せながら、内部は中廊下を設けるなど、近代的な要素もみられる近代和風建築。材料から仕上げまで吟味された良質な住宅。



### ②北土蔵<sup>きたどぞう</sup>

- ・年代 昭和2年(1927)建築
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 2階建ての土蔵で、南土蔵とともに敷地西辺、亀甲積みの石垣上に並び建ち、長大な土蔵景観をつくる。



### ③南土蔵<sup>みなみどぞう</sup>

- ・年代 昭和2年(1927)建築
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 2階建ての土蔵で、亀甲積み石垣上に建つ。北土蔵とともに、良材を用いた大型土蔵。



### ④離れ<sup>はな</sup>

- ・年代 昭和2年(1927)建築
- ・登録基準 造形の規範となっているもの
- ・特徴 離れは、北土蔵東隣、石垣上に建つ。木造平屋建て、入母屋造り葺き瓦葺きの建物で、材料を吟味した上質な離れ座敷。



### ⑤庭門及び南塀<sup>にわもん みなみべい</sup>

- ・年代 昭和2年(1927)頃建築
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 庭門は主屋南にあり、南塀は総延長61mで、大規模な屋敷地の歴史的景観を形成。



### ⑥北門及び北塀<sup>きたもん きたべい</sup>

- ・年代 昭和2年(1927)頃建築
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 北門は主屋北にあり、北塀は総延長45mの板塀で、屋敷景観を形成。



## 赤井家住宅について

- ・所在地 永平寺町清水8-39
- ・所有者 赤井 昭彦
- ・特徴 赤井家は、代々大庄屋を務めた旧家で、近代には上志比村長を務め、昭和12年に診療所を開業した。

広大な敷地正面には高麗門を構え(永平寺町指定文化財)、中央に主屋、主屋脇および手前に新旧の診療所、物置が建つ。大規模な主屋は、永平寺大工による建築で、大規模で質が高い。新旧の診療所は、地域医療の様相を伝えるとともに、旧家の近代の様相をうかがうことができる。



主屋外観



位置図



## 赤井家住宅各建物について

### ①主屋おもや

- ・年代 明治 28 年(1895) 建築
- ・登録基準 造形の規範となっているもの
- ・特徴 主屋は木造二階建て、切妻造り妻入り棧瓦葺きの建物で、東に角屋を延ばす。束と貫を整然と組んだ妻面をみせ、大規模で風格を備えた民家。資料から、永平寺大工による建築で、建築年代が明らかな点も貴重である。



### ②病室棟(旧診療所)びょうしつどう きゅうしんりょうじょ

- ・年代 昭和 12 年(1937) 建築
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 病室棟は主屋脇にあり、昭和 12 年診療所開業時の建物。新診療所完成後は病室棟として使用された。木造平屋建てで、外観は下見板張りのペンキ塗りの洋風意匠とする。



### ③新診療所しんしんりょうじょ

- ・年代 昭和 29 年(1954) 建築
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 新診療所は、内科・外科の診療を行った。木造平屋建て、寄棟造棧瓦葺きの建物で、縦長窓を並べるモダンな外観。外壁はクリーム色のモルタル吹付仕上げと、赤い瓦が特徴的で、地域の人々に親しまれた。



### ④物置ものおき

- ・年代 昭和 18 年(1943) 建築
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 主屋南東に位置する、木造 2 階建ての物置。屋敷地の歴史的景観に寄与。



福井県内の国指定・県指定等文化財

(令和6年7月19日答申・官報告示後)  
(件)

区 分	国指定		国選定	国選択	国登録	県指定	備 考	
	国 宝 特 別	重 文 国指定						
有 形 文化財	建造物	2	28			246	30	236→246(今回10件)
	絵 画		14				87	
	彫 刻		35				86	
	工芸品	3	8			1	36	
	書跡・典籍・古文書	1	15				23	
	考古資料		5				16	
	歴史資料		3				8	
計	6	108			247	286	237→247	
無 形 文化財	芸 能							
	工芸技術		2				4	
	計		2				4	
民 俗 文化財	有形民俗文化財		1			1	11	
	無形民俗文化財		5		12		65	
	計		6		12	1	76	
史跡・名勝・ 天然記念物	史 跡	1	24				29	
	名 勝	1	14			2	7	
	天然記念物	4	17			1	32	
	名勝天然記念物		1					
	計	6	56			3	68	
文化的景観				3				
重要伝統的建造物群保存地区				3				
選定保存技術								
合 計		12	172					
		184		6	12	251	434	241→251